

インテリジェント スイッチング電源

フィールド設置用

- フィールド設置型で、配線距離の短縮により電圧損失を低減
- 保護構造IP67、制御盤が不要
- 電子ヒューズにより出力回路を保護
- 出力電圧の調整・出力電流の個別設定が可能
- ステータス・診断状態をLED表示



IP67

IO-Link

ifm – close to you!

動作電圧 [V AC]	IO-Link	出力電力 (連続) [W]	出力回路数	電源出力 接続タイプ	製品コード
380～480 ±15% (3相)	–	500	4	2x M12、Lコード	**DN4234**
380～480 ±15% (3相)	•	500	4	2x M12、Lコード	**DN4237**
110～250 ±15% (単相)	•	300	4	2x M12、Aコード	**DN4218**
110～250 ±15% (単相)	•	200	2	1x M12、Aコード	**DN4217**

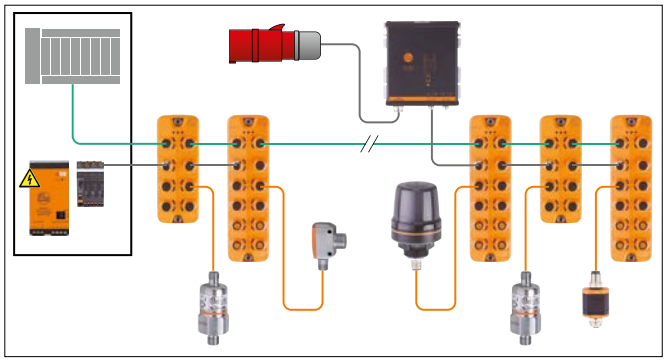
フィールド設置用スイッチング電源

IO-Linkマスタ・フィールドモジュールの普及に伴って、制御盤に収容しきれない制御部品を分散して設置するケースが増加しています。

また、従来の制御盤を使う方法では、電源の配線距離が長くなるため電力損失による、電圧降下が発生します。ifmのフィールド設置型スイッチング電源はこの問題を解消して安定した電源供給を付加機能と共に可能にします。

二次電源を保護

内蔵ヒューズにより、24 V電源に接続した機器を過電流・短絡から保護します。



電源のフィールド設置イメージ

安定した電源供給を実現

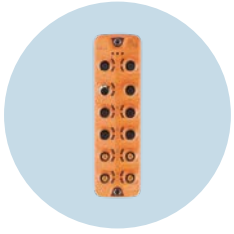
配線抵抗率が高くても電子ヒューズにより信頼性の高い短絡検出が可能です。各出力回路に設けられたヒューズで障害のある回路だけが遮断され、正常な回路は安定して動作を継続します。

電源投入時のピーク電流(突入電流)に強く、安定して電源を供給します。

IO-Linkによる通信機能

- 出力電圧の設定
- 一次側および二次側の電圧値の伝送
- 各チャネルの電流値の伝送
- トリップ発生箇所の伝送
- トリップ回路のリセット

BEST FRIENDS



IO-Linkマスタ
フィールドバス対応
PerformanceLine、
各ポート最大出力電流2 A



IO-Link M12モジュール
接点出力センサとIO-Link
マスタ間を接続



振動診断
保護構造IP67、
分散型診断増幅器

詳細情報はこちら:
ifm.com/fs/DN4234

製品改良のため、記載事項を予告なしに
変更する場合があります。· 04.2025
ifm electronic gmbh · Friedrichstr. 1 · 45128 Essen